



**安全データシート (SDS)**

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置  
 環境に対する注意事項  
 回収  
 二次災害の防止策

切屑、切り粉などで埃がたつた場合、マスクを着用してください。  
 川、地下水、下水等への流出を防いでください。  
 ほうき等で掃き集めて、回収または法令に従って廃棄してください。  
 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に、消火剤を準備してください。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い**  
 技術的対策： 切削加工など、切り粉が発生する作業を行う場合は、集塵設備を設けるか、防塵マスク・保護眼鏡などを着用してください。  
 安全取扱い注意事項： 熱線カットや端材の減容など、製品を加熱溶融する作業では、条件によっては、可燃性ガスや樹脂の熱分解ガスが放出することがあります。十分な換気を行う（可能なら局所排気設備を設ける）とともに、必要に応じて有機ガス用のマスクを着用してください。  
 接触回避： 水・酸・アルカリには安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されます。直接またはこれらの蒸気に触れないように注意してください。

**保管**  
 衛生対策： 保管・貯蔵の条件によっては、製品から緩やかに可燃性ガス（発泡剤）が放出され、滞留する場合があります。密閉空間での保管貯蔵を避け、火気に注意してください。滞留しないように通風換気に注意してください。保管・貯蔵倉庫には、換気設備を設けることをお奨めします。  
 安全な保管条件： ポリスチレンの性質上、紫外線に長時間曝されると、表面が変色劣化したり、脆い粉状になる場合があります。保管・貯蔵する場合には、日光を遮る覆いをかけるなど、紫外線対策を行ってください。

製品には燃焼遅延剤を添加して、微少火源では着火し難くしてありますが、燃える性質があります。  
 輸送・保管・施工にあたっては、火気に触れないように注意してください。

**8. ばく露防止及び保護措置**

**許容濃度**  
 押出法ポリスチレンフォームの許容濃度は設定されていません。  
 下記の許容濃度を適用してください。

	吸入性粉塵	ブタン	酸化チタン
日本産衛衛生学会勧告値	2 mg/m <sup>3</sup>	1200 mg /m <sup>3</sup>	0.3 mg /m <sup>3</sup>
ACGIH	未設定	1000 ppm	未設定

**設備対策**  
 切り粉が発生する作業所には集塵設備を、製品を加熱溶融する作業所には局所排気設備・可燃性ガス測定器などを設置してください。

**保護具**  
 呼吸用保護具： 切り粉が発生する作業所では防塵マスクを、製品を加熱溶融する作業所では有機ガス用マスクを、いずれも必要に応じて着用してください。  
 手の保護具： 製品を加熱溶融する作業所では、耐熱手袋などを着用してください。  
 眼、顔面の保護具： 切り粉が発生する作業所では、保護眼鏡などを着用してください。  
 皮膚及び身体の保護具： 製品を加熱溶融する作業所では、溶融樹脂などが皮膚に付着しないように、長袖の保護衣などを着用してください。

**安全データシート (SDS)**

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態：	常用の条件下では固体
形状：	板状
色：	ブルー、ピンク、グリーン、黄、赤、クリーム、茶、黒
臭い：	無臭
沸点：	なし
密度 (坪量)：	約300~400 g/m <sup>2</sup>
酸素指数：	26未満 (JIS K 7201)
爆発下限界及び爆発上限界／	データなし
可燃限界：	
引火温度：	約345°C (ポリスチレンとして)
発火温度：	約490°C (ポリスチレンとして)
分解温度：	約285°C (ポリスチレンとして)
融点：	約80°Cから変形し始め、約120°Cを超えると徐々に軟化します。
沸点：	なし
揮発性：	なし
溶解性：	水・酸・アルカリ・アルコール系溶剤には不溶。その他の有機溶剤、石油類には溶解・膨潤・変形します。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	通常の使用条件下では安定です。
避けるべき条件	火気や紫外線の暴露を避けてください。 アルコール系以外の有機溶剤・石油類及びこれらを含む薬剤、接着剤、塗料には侵されますので、接触を避けてください。
混触危険物質	なし
危険な反応	なし
危険有害な分解生成物	不完全燃焼すると黒煙とともに一酸化炭素などが発生します。

**11. 有害性情報**

刺激性	通常の使用条件下で刺激性はありません。 熱分解ガスは、目、皮膚、呼吸器官に刺激を与える場合があります。
急性毒性	知見なし
慢性毒性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし

**12. 環境影響情報**

分解性	生分解性はありません。 紫外線に長時間曝されると、ポリスチレンが劣化して、変色したり脆い粉状になります。
生態毒性	知見なし
生態蓄積性	知見なし

環境影響の具体的なデータはありませんが、海洋生物や鳥類が誤って摂取しないように、河川や海水域に投棄しないでください。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	産業廃棄物（廃プラスチック類）として、焼却または埋立て処分をしてください。
汚染容器及び包装	産業廃棄物焼却または埋立て処分をしてください。

焼却処理を行う場合には、「大気汚染防止法」及び「ダイオキシン類対策特別措置法」、埋立て処理を行う場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び都道府県毎に定められた「廃棄物の処分に関する条例」など、関連法規に従った処理を行ってください。廃棄物の処理を外部に委託する。

**安全データシート (SDS)**

14. 輸送上の注意

<p>国際規制 輸送上注意</p>	<p>分類区分に該当しない。</p> <p>製品の傷付きや欠けを防ぐため乱暴な取扱いを避けてください。固定用のロープを用いる場合には、段ボールを当てる等の傷付き防止策を講じてください。密閉された段ボールや荷室には可燃性ガス（発泡剤）が滞留する場合があります。段ボールや荷室を開ける際は、火気の取扱いに注意してください。喫煙、溶接等の着火源のない、風通しの良い場所で荷役作業を行ってください。積み荷の近くは火気厳禁としてしてください。輸送トラックには消火器を備えてください。</p>
<p>国内規制</p>	
<p>陸上運送：</p>	<p>消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従う。</p>
<p>海上運送：</p>	<p>船舶安全法に定めるところに従う。</p>
<p>航空運送：</p>	<p>航空法に定めるところに従う。</p>

15. 適用法令

<p>労働安全衛生法</p>	<p>施行令18条の2 通知対象物質 プタン</p>
<p>化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)</p>	<p>該当しない</p>
<p>毒物及び劇物取締法</p>	<p>該当しない</p>
<p>消防法</p>	<p>指定可燃物 (合成樹脂類を発泡させたもの。指定数量20 m<sup>3</sup>)</p>

16. その他の情報

フロンガスは一切使用していません。  
ホルムアルデヒド放散特性：F☆☆☆☆

本書に記載の内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、これらの情報は新しい知見により改訂されることがあります。注意事項は通常予測される取扱いを前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。本書の記載内容は情報の提供であって、内容を保証するものではありません。

改訂履歴

2002年01月	初版
2015年06月	JIS Z 7253 : 2012に準拠して、SDSに様式を変更
2019年05月	会社名を変更
2024年1月	JIS Z 7253 : 2019に準拠して様式変更